

つくば市公立保育所の新耐震基準を満たさない施設の整備方針（案）
保護者説明会

稲岡保育所

月 日	開催時間	参 加 者 数	
		会 場	オ ン ラ イ ン
7月30日(金)	17:00~18:10	16人	5人

【主な質問・意見と回答】

・：保護者質問、意見

→：市回答

・移行の際には民間園との合同保育を実施するとあるが、どのくらいの期間実施するのか？

→今のところ期間等は未定である。必要な期間は要望等を伺いながら決定していく。

・現在の保育所が未耐震であるということと、民間園に移行するということはわかったが、最終的には子どもを転所させるということになるのか？

→稲岡保育所の場合、令和7年度の時点で在席している子どもは新しい民間園でということになる。

・新しい園ができるまでは稲岡のままいて、耐震の部分については特に問題ないという説明でよいか？

→今の施設は必要な修繕を実施し安全に保育ができるような状況を確保していく。

・安全を確保しながらというのは、今後も耐震工事をしていくのか、それとも完了しているのか？

→耐震診断で耐震基準を満たしていない保育所は、耐震報告書で指摘を受けた不良箇所のうち、平成29年度に簡易かつ応急的な修繕が可能なものについて修繕工事を実施している。耐震の改修工事ではなく応急的な工事であるので、耐震診断の数値に変わりはない。保育所職員による簡易点検や、法定点検での不良箇所は必要な修繕として引き続き実施する。

・別な場所に保育所を作ることになるが、場所の選定は事業者が自分で見つけるのか、それとも市が選定して提供するのか？また候補地はすでにあるのか？

→場所は応募する事業者が見つけるので、場所の候補地は決まっていない。

- ・そういうことであれば、公募で事業者が決定したあとに用地買収とか計画が決まってくるようになるのか？
- 事業者が保育事業を実施したいと市に事前に相談に来るが、場所はあらかじめ選定した上で相談に来ている。保育所の場合はほとんどが借地で、相談の時点では仮契約で、正式に決まった時に本契約することが多い。

- ・現在の稲岡保育所は認可定員が60人でアットホームな雰囲気保育を行っているが、民間になった場合、定員の大幅な変更はあるか？
- 稲岡保育所エリアの需要を考えると、90人規模を考えている。

- ・岩崎保育所と同様に0歳児の受け入れも考えているのか？
- 移行にあたっては0歳児の受け入れも考えている。

- ・市内全域で公立保育所の空白地帯ができないように配置するとあるが、稲岡周辺を見ると、上横場・稲岡・高見原・城山の4つの公立保育所が民間移行し、二の宮から岩崎保育所までの間に公立保育所がなくなってしまう。保護者としては公立保育所で再運営してもらうことが一番安心できると思う。
- 御意見として承る。

以上